

6月29日からの大雨による被害状況等について（第1報）

※ これは速報であり、数値等は今後変わることもあります。

1 気象状況 気象庁発表（6/30 11:00 時点）

- 梅雨前線が日本海にあり、前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込んで、前線の活動が活発になっている。西日本を中心に雷を伴った猛烈な雨や非常に激しい雨が降り、大雨になっている所がある。
- 梅雨前線は、7月1日にかけて本州の南岸付近まで南下する。九州を中心に西日本から北日本の広い範囲で、雷を伴った猛烈な雨や非常に激しい雨が降り、1日にかけて大雨となる見込み。特に、九州北部地方や九州南部では、30日午後から1日午前中にかけて、線状降水帯が発生して大雨災害の危険度が急激に高まる可能性がある。
- 1日12時までの24時間に予想される雨量は多い所で、九州北部地方、九州南部では300ミリ、四国地方、近畿地方では250ミリ、東海地方、北陸地方では180ミリ、中国地方、関東甲信地方では150ミリ、東北地方では120ミリ、北海道地方では100ミリ。2日12時までの24時間に予想される雨量は多い所で、九州南部では100～150ミリ、九州北部地方、近畿地方、東海地方、北陸地方、関東甲信地方、東北地方では50～100ミリ、四国地方、中国地方ではおよそ50ミリ。3日12時までの24時間に予想される雨量は多い所で、九州南部では100～150ミリ、九州北部地方では50～100ミリ。
- これまでの大雨により、地盤が緩んでいる所や増水している河川がある。土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に厳重に警戒。落雷や竜巻などの激しい突風、降ひょうに注意。
- 梅雨前線は、2日以降も日本付近に停滞し、西日本を中心に大雨となるおそれがある。

2 体制等

- 警戒体制：本省、九州地整、気象庁、国総研
- 注意体制：中部地整、近畿地整、北陸信越運輸、九州運輸、地理院

3 被害情報等

(1) 河川（6/30 12:00 時点）

- ・被害情報なし

(2) ダム（6/30 12:00 時点）

- 洪水調節（事前放流を含む）を実施 25 ダム
25 ダムのうち、事前放流の基準に達したダム 21 ダム

- ・事前放流を実施 13 ダム（うち、利水ダム 5）
 - ・すでに事前放流の容量を確保 8 ダム（うち、利水ダム 6）
- ※基準降雨量との関係やダムの運用について評価中であり、数値が変更となる場合があります。

(3) 砂防

■土砂災害（6/30 13:00 時点）

現時点で発生情報無し

■土砂災害警戒情報（6/30 12:00 時点）

3 県 10 市町村に発表（福岡県、佐賀県、大分県）

(4) 道路（6/30 12:00 時点）

○高速道路

被災による通行止め：1 路線 1 区間

E34 大分道（九重 IC～湯布院 IC）【1 区間】土砂流入

雨量基準超過等による通行止め：1 路線 1 区間

E34 大分道（玖珠 IC～九重 IC）【1 区間】雨量基準超過

○有料道路

被災による通行止め：なし

雨量基準超過等による通行止め：なし

○直轄国道

被災による通行止め：なし

雨量基準超過等による通行止め：なし

○補助国道

被災による通行止め：なし

○都道府県道等

被災による通行止め：2 県 2 区間

岡山県 1 区間（落石 1）

大分県 1 区間（路面冠水 1）※本件については自転車道になります。

(5) 鉄道（6/30 12:00 時点）

<新幹線>

【運転を見合せている路線】：なし

【今後、運転を見合わせる予定の路線】：なし

<在来線>

【運転を見合せている路線】：3 事業者 5 路線

J R 東海：中央線

J R 九州：後藤寺線、筑豊線、久大線

西日本鉄道：太宰府線

【今後、運転を見合わせる予定の路線】：なし

(6) 航空 (6/30 12:00 時点)

○運航に支障となる空港施設等の被害情報なし

○運航への影響

30日 欠航便6便 (JAL2便、その他4便)

(7) 海事 (6/30 10:30 時点)

・11事業者11航路において運休

・施設被害なし

(8) その他 (海岸、下水、公園、都市、自動車、港湾、物流、観光、海保) 関係の状況

・被害情報なし

4 国土交通省の対応

(1) 災害対策本部会議等

○国土交通省災害対策連絡調整会議 (6/29)

(2) 記者会見等

○合同記者会見 (福岡管区气象台、九州地整 6/30 11:00)

○共同取材 (気象庁、水管理・国土保全局 6/30 14:00)

(3) TEC-FORCE 等【本日24名派遣】

○JETT: 12県へ24名

5 気象庁の対応

○JETT (気象庁防災対応支援チーム) ※TEC-FORCE の内数 (6/30 12:00 時点)

6/29: 12名 (岐阜県庁2、島根県庁2、浜田市3、江津市3、香川県庁2) を派遣

6/30: 24名 (富山県庁2、和歌山県庁1、鳥取県2*、愛媛県庁2、山口県庁3*、福岡県庁2*、佐賀県庁2、長崎県庁2*、大分県庁2、熊本県庁2*、宮崎県庁2*、鹿児島県庁2*) を派遣 *は予定

○気象庁では気象情報等を適時に発表し、報道機関を通じて警戒を呼びかけている。

○気象庁本庁では、昨日、報道機関に対し気象解説を実施。また、本日14時より、水管理・国土保全局と合同で報道機関に対し解説を実施する予定。

○各地の气象台は、JETT (気象庁防災対応支援チーム) の派遣やホットライン、地方整備局等との合同での大雨に関する記者会見等により警戒を要する自治体等に今後の見通しについて解説を行っている。

問合先: 水管理・国土保全局防災課災害対策室 小林
代表: 03-5253-8111 内線35-822
直通: 03-5253-8461